

木村しずえの議会報告

12月議会



高い水道料金の引き下げを 毎年一億円以上の黒字

茨城県の平均的料金は、東京都や神奈川県
の二倍になって高いという実感を裏付けています。
近隣市町村からみた那珂町は、やはり割高です。
その一方水道事業会計は、毎年一億円から一億
八千万円の利益が出ていて、十億円の預金がか
まっています。

町民は、不況やリストラなどで苦しい生活を
強いられています。払いたくても払えない水道
料金の滞納者は毎年一七〇〇〜一八〇〇世帯に
上り、那珂町の給水戸数の十二%にもなります。
滞納による給水停止世帯は、少ないときで三十
六戸、多いときで一五〇戸にもなります。

「町民が不況で
苦しいときこそ水
道料金を引き下げ
るべきである。財
源は十分にある。」
との木村議員の質
問に、町長は「水
道事業の健全化の
ため、水道料金は
引き下げられない」
と住民生活の健全
化は省みない答え
でした。

| | 純利益 | 滞納者数 |
|------|---------|-------|
| 97年度 | 111,898 | 1,764 |
| 98年度 | 133,927 | 1,826 |
| 99年度 | 159,698 | 1,781 |
| 00年度 | 184,444 | 1,718 |
| 01年度 | 103,274 | 1,859 |
| 02年度 | 128,229 | 395 |

(純利益は単位1000円)

少人数学級請願採択

ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実を求める請願

この請願は小中学校の「少人数学
級で行き届いた教育ができるように
」との趣旨で、過去何回か出されて
いましたが、木村議員一人が賛成し
ただけでいずれも不採択でした。
その後、遠藤実議員が「請願書」
の紹介議員となって採択に賛成は二
人となりました。そして今回十二月
九日の教育厚生常任委員会で、採択
を渋る保守系議員を木村議員が必死
に説き伏せて採択となり、十五日の
本会議でも全会一致で採択されまし
た。

木村議員は請願が不採択となるこ
とにタイムリーで町民に知らせ、少
人数学級がいかに重要か町民世論に
訴えてきました。その努力が実った
ものです。

学童保育「要望あれば木崎、戸多にも」

各小学校区に学童
保育の設置がすすみ、
〇三年十二月オーブ
ンの横堀学童保育所
で七カ所になりました。
た。

「那珂町の小学校区
は十ある。残りの計
画はどうなっている
か」との木村議員の
質問に、民生部長は
「来年（〇四年）四
月に本米崎学童保育
所が開所する。木崎
と戸多は住民の要望
があればつくってい
く。」と答弁しまし
た。



那珂タイムリー No.111

04年1月10日

日本共産党那珂町議会議員木村しずえ菅谷4494-1 Ⅲ/fax298-2064

住民要求実現にがんばる木村しずえ議員

抜群の発言力

木村議員は年四回の定例議会には、毎回住民要求を詳細に調べて住民要求の実現のためにがんばってきました。今回の「少人数学級をもとめる請願」が通ったのも、住民の切実な声を背にした道理ある木村議員の主張に、他党派議員がこれ以上反対できなくなったものでした。

町民世論をバックにがんばる木村議員の発言力は、二十五対一でも負けなことが示されました。日本共産党の議員は、常に町民の世論と要求を力のよりどころとしているからがんばれるのです。

議員定数削減は住民自治にブレーキ

こういう議会の姿に怒った住民が、議員定数削減の陳情を出してきました。しかし議員定数を削減することは、住民の声を町政に反映させるパイプを断ち切ることとなります。

議会の無気力ぶりへの怒りは十分理解できますが、議員が減れば減るほど執行部は独断的に、町民の意向と離れた施策を行うこととなります。

沈滞ムードの議会

一方、公明党や自民党、保守系無所属議員は、町長提案にすべて賛成しています。

滞納者が激増して給水停止世帯まで出ているのに大黒字の水道事業も木村議員以外全員賛成、それでいて四年間の一般質問四回以下の議員が三分の二を越えるというありさまです。

その上サギの疑いで逮捕された議員もいれば、本会議を休んでゴルフをしている議員もいます。本会議を休んでゴルフに行くことを、議長が認めたというからまた驚きです。

要介護認定者は障害者控除が受けられます

まだの方はすぐ申請を

65歳以上で介護保険の要介護認定を受けた方は障害者に準ずるものとして所得税、住民税の控除が受けられます。ほとんどの方が知らないため申請もありません。

木村議員は「広報で一回流した程度では足りない。町民にもっと広く知らせる必要があるのでは」との要求によく知らせることになりました。

現在障害者は一、二級で所得税、住民税合わせて七十万円、三、六級で六十三万円控除されています。

要介護認定者も同様の控除が受けられます。詳しくは国民年金課または保健福祉課へお問い合わせ下さい。

| 4年間全16回の一般質問回数 | |
|----------------|----|
| 木村しずえ | 16 |
| 石川 利秋 | 16 |
| 遠藤 実 | 16 |
| 小沼 博恭 | 11 |
| 笹島 猛 | 9 |
| 助川 則夫 | 9 |
| 雨川 和幸 | 8 |
| 福田耕四郎 | 4 |
| 富山 俊一 | 3 |
| 須藤 博 | 3 |
| 加藤 直行 | 3 |
| 會澤 貞美 | 3 |
| 武藤 博光 | 3 |
| 内山さき子 | 2 |
| 高村 博明 | 2 |
| 會澤 明 | 2 |
| 間宮 一 | 1 |
| 石川 憲男 | 1 |
| 車田 一嗣 | 1 |
| 海野 進 | 1 |
| 中村 健 | 1 |
| 根本 謙一 | 0 |
| 赤津 誠 | 0 |
| 小田倉忠安 | 0 |
| 根本 幸一 | 0 |
| 渡邊 勝一 | 0 |